岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　一級河川　太田川水系　杉谷川　通常砂防事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	ボーリングNo.2	調査位置	広島県広島市安佐北区可部町桐原	北緯	34° 31′ 31.2238″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和4年 3月 5日～ 令和4年 3月 7日	東経	132° 32′ 15.6751″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 134.14m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	6.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D / エンジン：ヤンマー TF-90M / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD (%)	記事	孔内水位／測定月日
1			礫混じり砂		茶							0[0](100) 0[0](100)	中～粗砂を主体とする緩い砂質土。φ3cm花崗岩礫を混入する。	3/3 1.60
2	131.75	2.39										14[27](100)	1.8m付近，植物葉が混入する。	
3				花崗岩	淡赤	w3	h1	C	Ⅲ	c	CM	11[11](100)	粗粒花崗岩。全深度でコアは外周を保つが，鉛直亀裂が発達し，RQDが低い。亀裂の多くは脈状物質に充填される。	
4												12[12](100)	3.2mまで長石粒子が弱く白濁する。	
5						w1		B		b		16[36](100)	3.2mより岩片硬質化する。	
6	128.14	6.00												
7														
8														
9														
10														
11														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
6	0.15	6	300	
	0.45			
1	1.15	1	30	
	1.18			
50以上	2.15	50	240	240
	2.39			
50以上	3.00	貫入不能		
50以上	4.00	貫入不能		
50以上	5.00	貫入不能		
50以上	6.00	貫入不能		

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
		66／ケーシング	打込み／メタル	0	0	0	約0	0
	62			100	300			
		66	ダブル／ダイヤ	200	300	0	約35	5
3/5				300	300			
3/7	13							